

プライベートデット

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
日本証券業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2022.08.2



概要

プライベートデット (Private debt)

プライベートデットは、企業に資金提供を行う手法の一つで、プライベートエクイティと似た役割を持っていますが、資本構成(キャピタル・ストラクチャ)に差異があります。プライベートデットは、高度な取引契約を設計することで、企業の柔軟な資金調達やリスク移転を可能にする一方、投資家にとっては、リスクの種類や程度の選択・排除が可能になるメリットがあります。

銀行の資本規制がつくる投資機会

銀行はバーゼル体制の強化により、資本規制を受け、融資に対する資本コストが高くなります。理論的には、いかに信用リスクに格差があっても、予想損失が金利で補償されるように、金利水準が定められている限り、統計的総合収益は、同じです。ところが、予想損失を事前に引き当てる銀行の資本規制の下では、信用リスクが高くなると、資本コストがかかる分だけ、金利を引き上げざるを得ません。この金利の上昇分、資本規制を受けない投資家にとって、有利な投資機会が得られます。

銀行融資以外の資金調達方法

上述のように、銀行融資に代表される債権は、予測された事業キャッシュフローの範囲内で、利息支払いと元本弁済が可能であることを、基本的要件にしています。融資が必要な企業は銀行等からの融資が得られず、また資本市場からの調達もできない場合は、別の手段で資金調達を行う必要があります。代表的な調達手段はアセットファイナンス、ダイレクトレンディング、メザニン、リスク移転契約が考えられます。

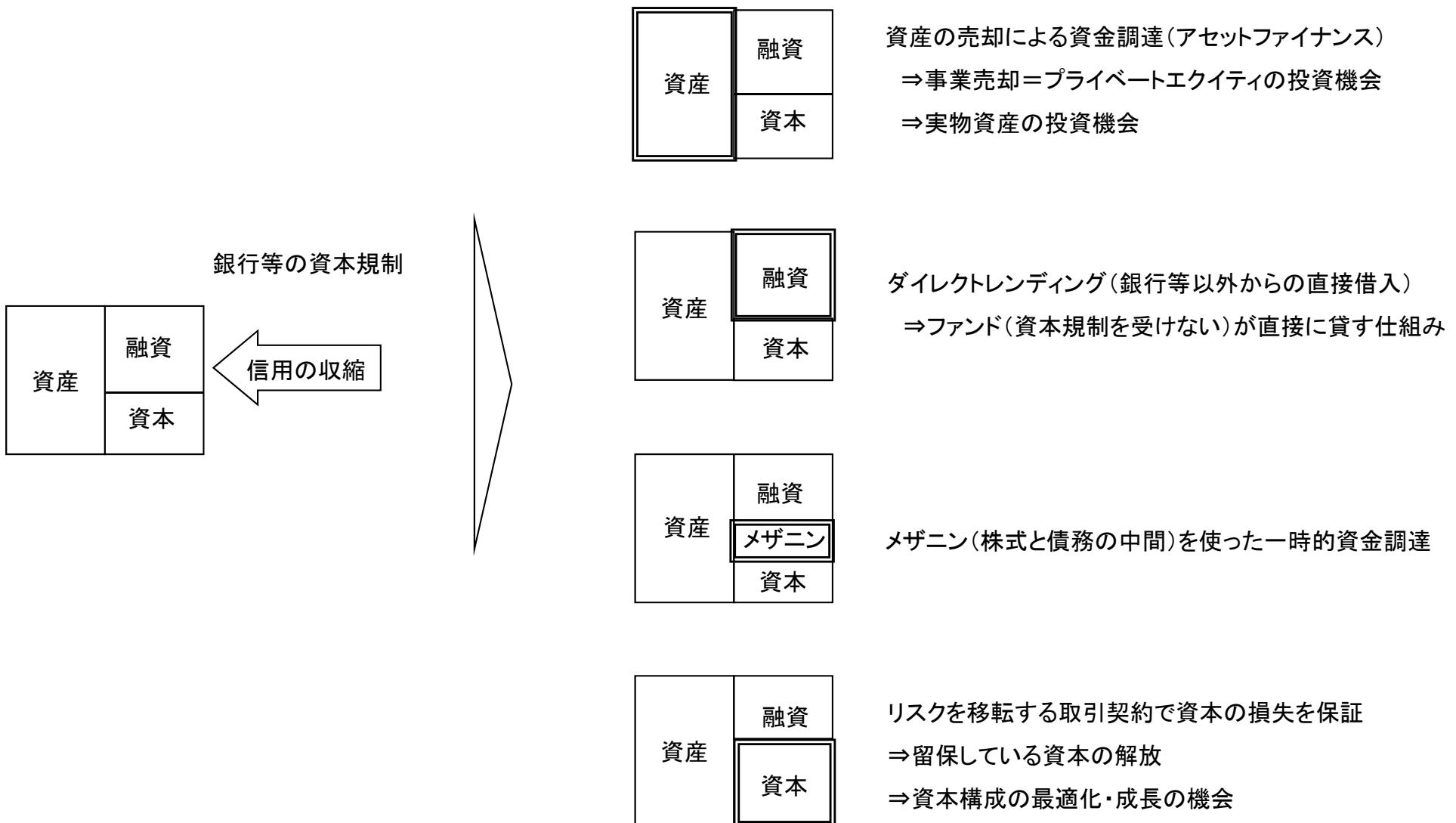
アセットファイナンス

本来的に企業経営に必要な資産を売却することで、資金を調達する方法です。企業経営にとって必要な資産であり、売却後も利用するため、継続的な賃料・使用料の支払いが期待されます。それにより、リアル・アセットは資産としての投資価値を持ちます。企業に限らず、財務超過の状況が深刻な国においては、国有資産の整理が必要となり、政府にはアセット・ライトが求められます。

メザニン (Mezzanine)

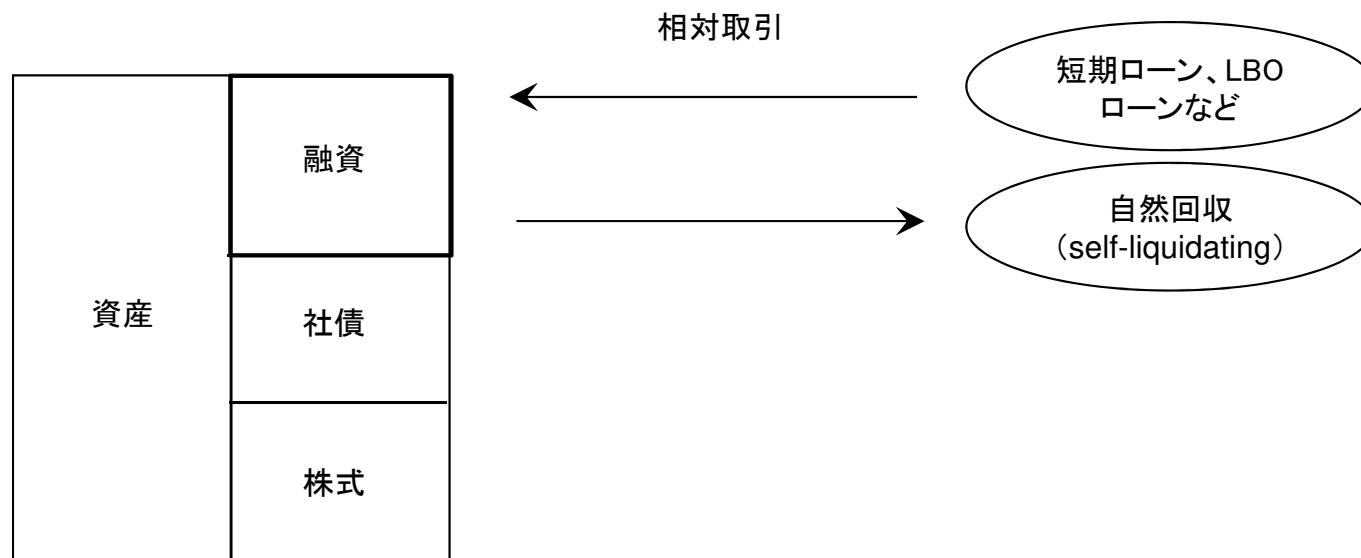
企業の資金調達には、株式の発行によって資本を増加させる方法と、社債を発行する、あるいは融資を受けることによって負債を増加させる方法がありますが、その中間には、有期で償還される負債性のある資本、または資本に転化し得る資本性のある負債を設計することができます。この中間形態は、資本を建物の一階、負債を二階に譬えることで、中二階、それを英語にしてメザニンと呼ばれます。

信用の収縮と代替的与信方法の拡大



「プライベートデット(ローン)」の投資機会

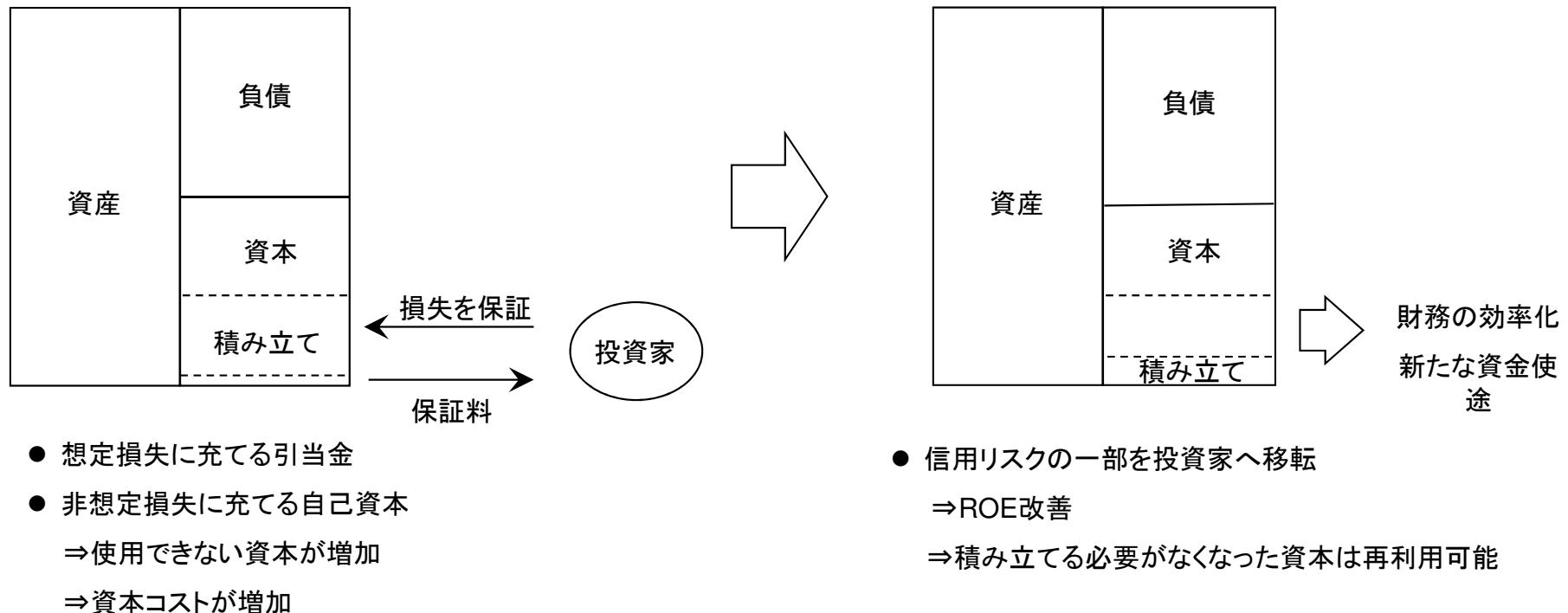
- ⇒ プライベートデット(ローン)は、資本構成構成上、社債よりも高く、最上位に位置し、相対での取引が行われる。
- ⇒ ダイレクトレンディングなど、銀行等以外からの直接借入で、資本規制をうけないファンドが直接に貸す仕組み。相対で貸し付けた、短期ローンの元利金が、自然回収(self-liquidating)される形態であり、一括で弁済されるので、価格の下方硬直性があるのが特徴。不動産のつなぎ融資や貿易金融が事例としてあげられる。
- ⇒ 社債は、公開市場での取引なので流動性は高いが、売却によるリスク管理となるため、資本市場の機能不全に弱い。他方、ローンは相対での取引ゆえに、流動性は低いが、関係性によるリスク管理 = リスクの直接的管理が行われ、資本市場の機能不全に強いのが特徴である。



金貸しの本職(銀行)が貸せない先がプライベートデットのマーケットであり、プレミアムが取れる。

「リスクシェア」の投資機会

銀行の固定された資本を解放し、経営の健全化を促す「リスクシェア取引」



講演後アンケート

今後の運営に活かしたく、下記リンクよりご意見やご感想いただけますと幸いです。

アンケートURL: <https://forms.gle/RjY2jDV99UuKxbW58>

注意事項

- 本ウェビナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。